

誰が裁き、誰が許すのか 会話の境界を超える「起民 Upstanders)たち

第5回市民科学者国際会議

2015年9月22日(火・祝)

国立オリンピック記念青少年総合センター

国際交流棟 国際会議室

ジャーナリスト 藍原寛子

医療倫理－「調査」「研究」の名の下での人体実験

- 医療をめぐる法と倫理
- 法と倫理の違い
- 戦時下での人体実験→ニュルンベルク綱領
- 原爆投下後の健康調査、プルトニウムの人体実験、731部隊
- タスキギー研究
- 医療－人種差別、人への危害・殺害を生み易い

医療の主体者は誰か

- 医療の主人公は患者、市民（受益者であり、正負を担う）
- 違法性阻却－医師免許と特権
- 『人は誰でも間違える』（IOM/ Institute of Medicine 著、米国1999年、日本医学ジャーナリスト協会翻訳、2000年日本で発行）の先にあるもの（“To err is human, to forgive, divine.” 過ちを犯すのが人間、許すのが神、アレキサンダー・ホープ、18世紀英国の詩人）

パターナリズムと インフォームドコンセント

- 医療の発達段階 医師の強いパターナリズム
発揮→医師の裁量が強い段階→患者の非公
式な参加→患者の公式な参加→医師の裁量
の更新→最新情報とエビデンスの共有→患
者が中心となった治療選択
- 戦争や災害などの緊急事態で極めて限定的
に取り扱われるべき医師のパターナリズムが
平時にも発揮される事態→問題が発生
- 十分な情報共有と議論の場、情報公開、透
明性は必須条件

被ばく住民の声

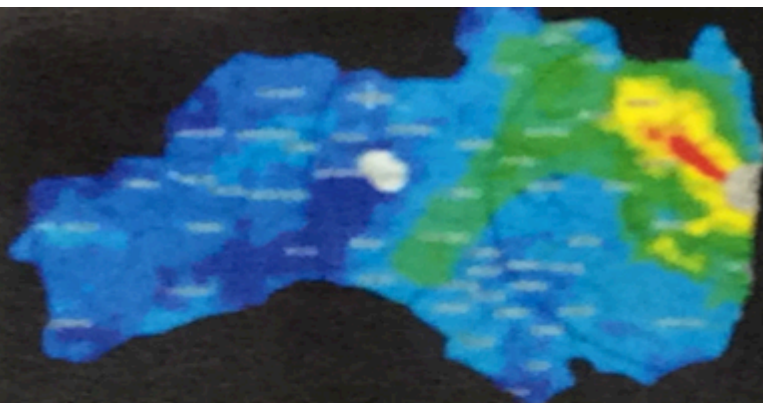
- 飯舘村の村議「モルモットにされている」
- 「安全」「安心」の下での医療ショックドクトリン
→「安全」ありきの調査
- マーシャル諸島でも人体実験
→プロジェクト4. 1、放射性クロム注射
- 決定の主体者としての機会を奪われた市民
- しかし、行動を起こし、声を上げる人々がいる
「起民Upstanders」
- 「私たちが自信をもって、未来を語る『ことば』。この『ことば』こそが、原発事故後の日本の新たな法体系の要となるはずです」(岡山に避難した司法書士の丹治さん)

Never Pureと 原発事故後の「専門家」たち 不可視化のメタファー

- 福島市のガラスバッジ説明会ーpoliticalな要素
- 「政治性」と「イデオロギー」、「科学的」と「中立性」の間
- 研究・専門領域を超えて発言した「専門家」も「専門家」と言えるのかー標榜性
- 軽視される集合知と住民の経験値
- 明示されない利益相反
- 不明瞭な政策決定過程

福島市のガラスバッジ説明会

福島市保健福祉センター
ガラスバッジ測定結果説明会



放射線と健康についての基礎講座 外部被ばく検査と福島の実況

福島県立医科大学
熊谷敦史

平成27年3月



- 放射性雲が飛んできて
も笑顔で笑っている
- しかも母子である(ジェン
ダー不平等)

- 屋外で被ばくしている図
 - 行政や専門家や原因者(東電など)が不在の絵
 - 避難に関する警告なし
- 市民の不安に答えない

放射性物質を含んだ
雲が飛んできた時に
雨や雪が降ったところ
では、放射性物質
が地面に落ちてしま
した



9月18日の屋外条件で、
大人が1日8時間365日活動したとして、吸い込む
放射性セシウムによる内部被ばく線量は 約 **6.6** μSv

セシウムが検出された
ってことは、やっぱり
吸い込んでしまうって
ことでしょうか？

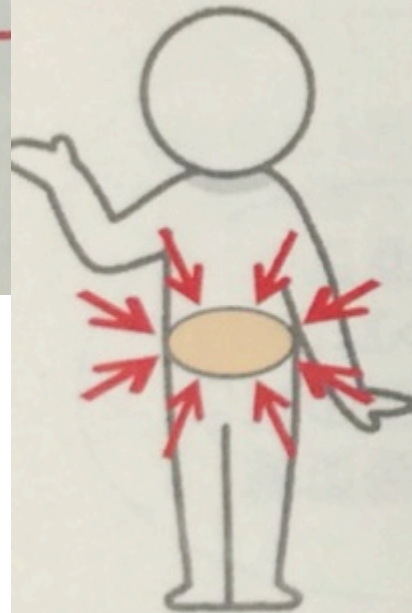


この時の飯舘村の外の
空気を一年間吸い続け
たとしても、
胸のレントゲン写真撮
影で受ける被ばく量の
10分の1程度です。



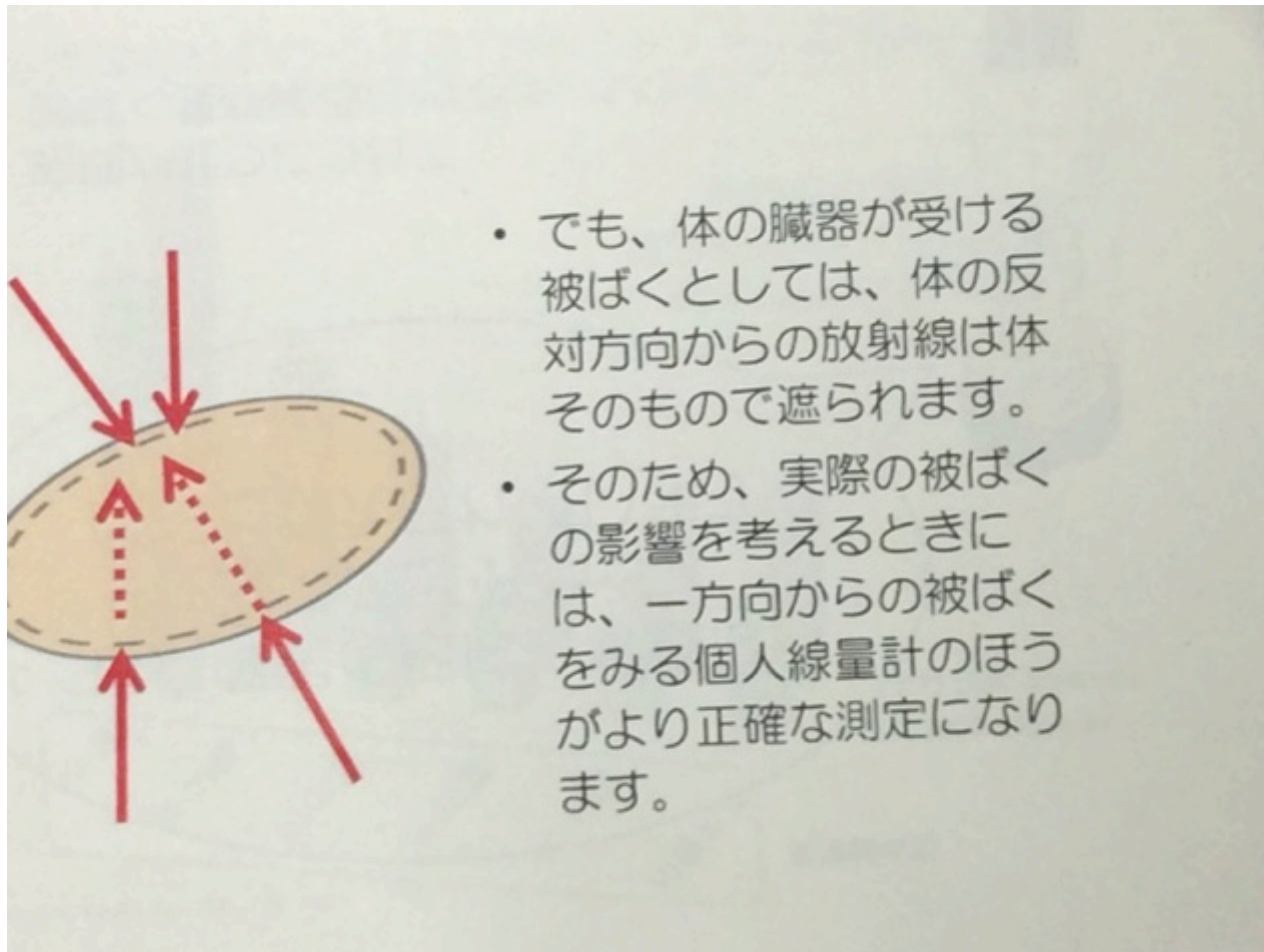
個人線量計では
前方からの放射線は
はかっています。

背中の方から来る
放射線は、体がさえ
ぎってしまいます。



- でも、体の臓器が受ける被ばくとしては、体の反対方向からの放射線は体そのもので遮られます。
- そのため、実際の被ばくの影響を考えるときには、一方向からの被ばくをみる個人線量計のほうがより正確な測定になります。

どうみても被ばくの図 被ばくよりも、 ガラスバッジの正確さを説明する矛盾



そしてクイズ

日本では、最近どれくらいの方が
がんになっているのでしょうか



10人に1人



5人に1人



2人に1人

生活習慣による「がん」
の危険のほうが、
福島での被ばくによる
「がん」の危険より
大きい状況であることが
わかってきました



「がん」になりにくい体づくり

日常生活での発がんリスク

原爆被爆者

日常生活の状態など

1,000~
2,000
mSv相当

- 喫煙
- 大量飲酒 (>450g/週)
エタノール23g:
日本酒1合、ビール大瓶1本633mL、焼酎25度
120mL、
ワイングラス2杯200mL、ウイスキーダブル1杯60mL

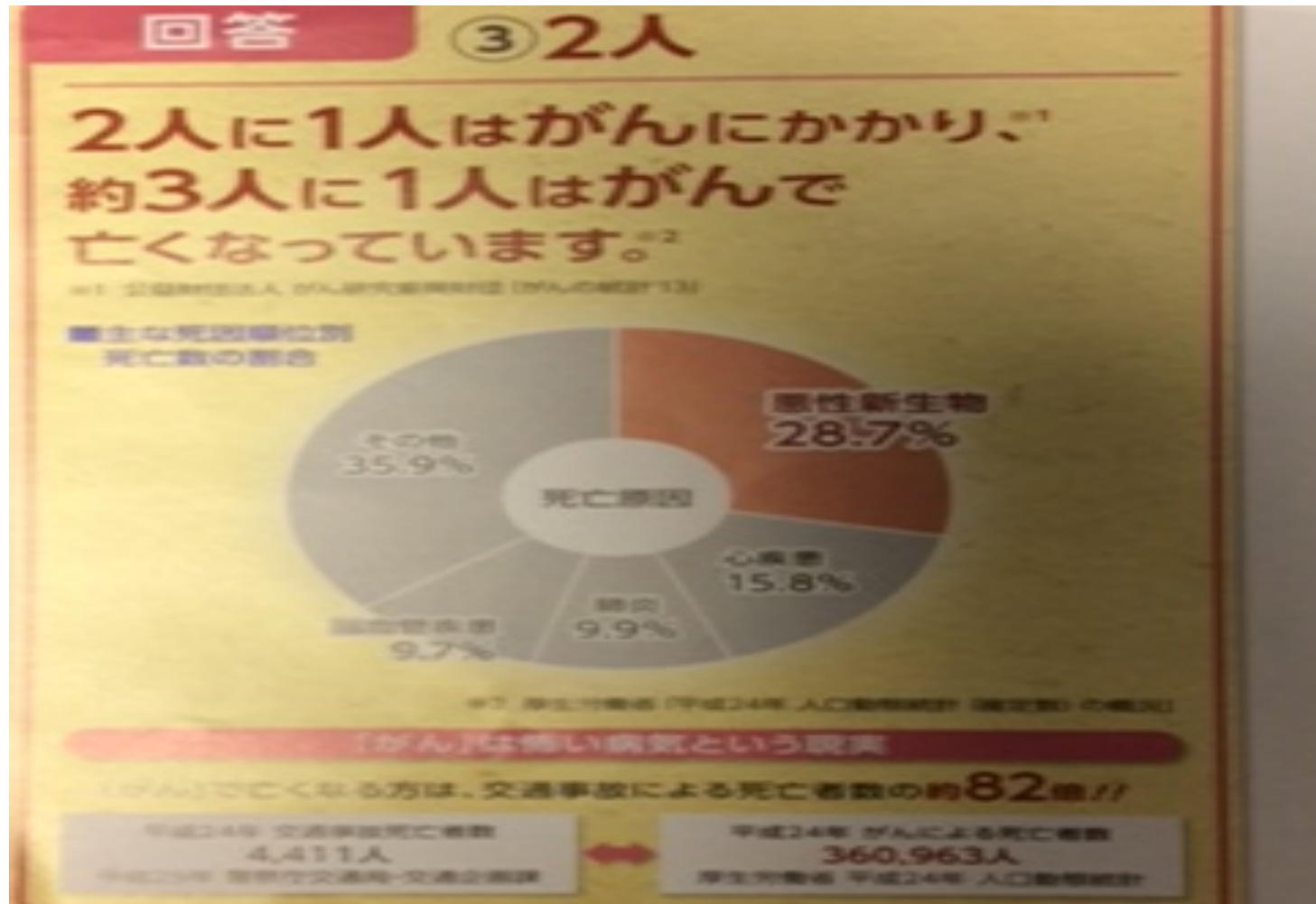
200~500
mSv 相当

- 肥満 (BMI $\geq$ 30)
BMI23.0~24.9の群に対し、BMI $\geq$ 30の群のリスク
- やせ (BMI<19)
- 運動不足
- 高塩分食品

100~200
mSv 相当

- 受動喫煙
夫が非喫煙者である女性群に対し、夫が喫煙者である女性群のリスク
- 野菜不足
1日420g摂取群に対し、1日110g摂取群のリスク
(中央値)

ちなみにアフラック(がん保険会社) 答えは同じだが...



前提がまるで違う

知っておきたい

がん講座

意外と知らない「がん」のことについて



問題

一生涯のうち
に1人はがんになると言われています。

に当てはまる人数はどれでしょうか？

① 10人 ② 5人 ③ 2人

Afiac

答えは次ページ

キッズキャンサーセミナー

「福島でこそ日本一のがん教育が必要」のメタファー
教育に入り込む「復興」「風評被害」



福島県民健康調査

- 語られない医療のビッグデータの負の側面
- 臓器売買、組織売買、そしてデータ売買
- 取引されるデータ
- 治験に支払われる費用
- 回答率3割－それでも世界でも有数の疫学調査
- 調査データの論文流用

「起民Upstanders」の声

- ガイガーフクシマ（福島産、ガイガーカウンター）の開発者「戦争状態だ」
- 住民の声の矮小化、そこに入り込む政治的な要素
 - 「帰りたい」は、本当に「帰りたい」なのか
- マーシャル諸島、トニー・デブルム外相
「（核被ばくの原因者は被ばく者に対して）Lie, Deny, Classify（嘘をつき、否定し、機密扱いにする）」

裁くのは誰？許すのは誰？ 「見えないもの」は神の領域か？

- 「お守り言葉」「見えない領域」「会話の境界」を生むメタファーとしての「復興」「風評被害」
- 「美」の中に隠される被ばくと人々の怒り:「殉教者」永井隆とクリスチャン山下俊一—「美しい日本」と「うつくしま、ふくしま。」
- 人権、被ばく、核問題—世界市民、地球市民としてのフクシマの視点
- (Bio)ethics from below—求められる「下からの(生命)倫理」
- 地球市民フクシマの視点の普遍性(福島在住者に限らず、放射能汚染を体験した地球市民フクシマ)

ご清聴ありがとうございました。